

グリーンリッチホテル大阪空港前

No. 06-008-2011作成
新築
ホテル

発注者	グリーンホテル・ズ コーポレーション	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	株式会社熊谷組関西一級建築士事務所		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	株式会社熊谷組関西支店		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

環境に優しい省エネビジネスホテル

プロジェクトの概要

大阪都心から電車で約30分、大阪国際空港（伊丹空港）より徒歩5分のビジネスホテルで、立地上ビジネス客だけでなく航空関係者の需要が多いのが特徴である。また、春・夏には甲子園球児の指定宿泊施設としても利用されている。

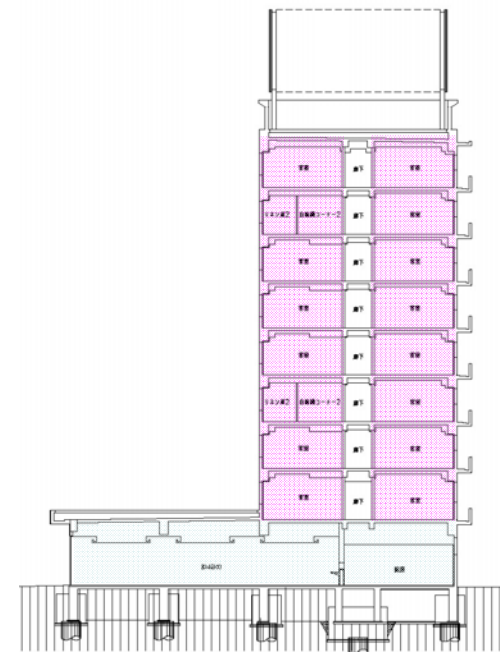
可能な限り緑化（緑化率15%強）を施し、温熱環境の向上を図っている。また、ホテルの運営上、ランニングコストの削減が当初の設計テーマの一つであったが、省エネに配慮した設備機器の選定や高断熱化等により、結果として環境に優しい施設を具現化し、CASBEEでAランクを達成、第三者認証を取得した。



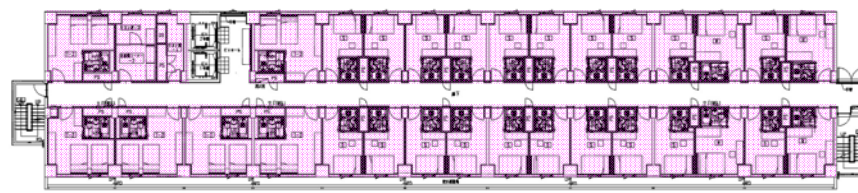
全景



アプローチ



断面図

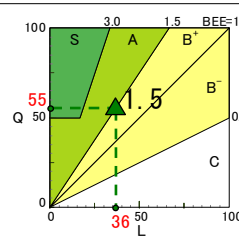


基準階平面図

所在地	大阪府池田市
竣工年	2010年
敷地面積	2,395㎡
延床面積	6,364㎡
構造	RC造
階数	地上9階

省エネルギー性能	
PAL削減	5%
ERR (CASBEE準拠)	36%
LCCO ₂ 削減	31%

CASBEE評価	Aランク
BEE=1.5	
2008年度版	
第三者認証	



省エネルギーの運用、管理体制等配慮した事項

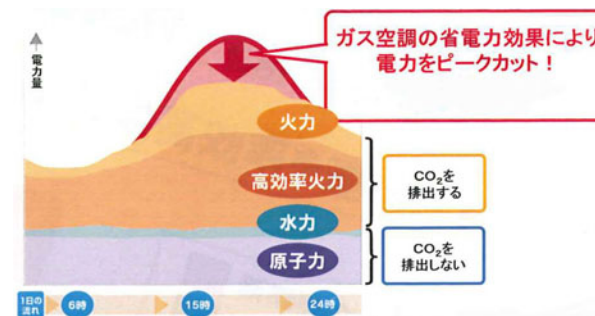
- ・客室内の電灯、コンセントはタブレットキースイッチ（省エネスイッチ）による制御とし、外出、食事、入浴等で不在となる場合に強制的に電源をOFFする事で、つけっぱなし等による無駄な電力消費を抑制し、省エネを図っている。
- ・共用照明は全て事務室によるリモコン制御とし、グループ制御、タイマー制御にて、計画的な点滅プランを行うことにより、省エネを図っている。
- ・空調機は事務室の集中リモコン制御による、計画的な空調運転を行うことで無駄な消費電力を抑制し、省エネを図っている。
- ・共用部の空調機はガスヒートポンプ空調機を採用。ガス空調の省電力効果により電力のピークカットを図っている。更に、一部は発電機能付ガスヒートポンプ空調機（ハイパワーエクセル）を採用。運転時の自己消費電力を自家発により補い、さらに余剰電力を館内の電力に補填する事で省エネに寄与している。
- ・LED、蛍光灯照明を主体として採用。省エネ、管理の容易性に配慮している。

- 省エネスイッチ
- ・客室在室時のみ通電



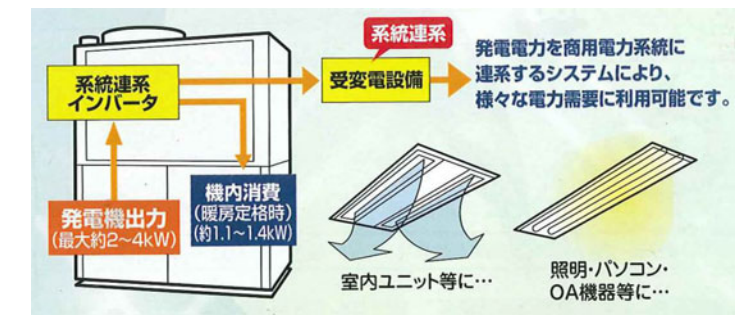
●共用部の空調にGHP採用

- ・電力のピークカットによる省エネ

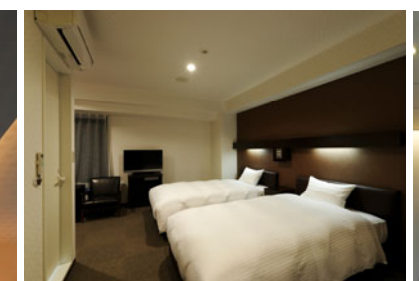


●共用部の空調の一部に発電機能付GHP採用

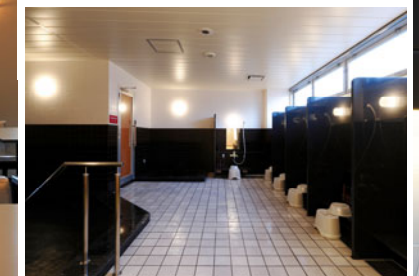
- ・余剰電力を館内の電力に補填



カフェレストラン



客室



大浴場

設計担当者
統括：中嶋 功/建築：岩下朗久、小山貴臣/構造：梅田正芳、前田瑞希/設備：西川昭良、榎垣龍壽
/インテリア：ピーナック めの恵子、宮本里奈

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (RC造・耐震クラスA、非常用発電機の設置、通信手段の多様化)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (緑化率15%以上)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (ERR性能、タイムスケジュール制御、ハイパワーエクセル空調)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型器具の採用)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮 (LCCO₂削減)
- Z. その他 (事務室による集中リモコン制御)